

## 聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、 または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	脆弱性骨盤骨折患者の回復期病院退院時歩行能力を規定する因子の検討		
② 実施予定期間	承認後～2024年12月31日		
③ 対象患者	対象期間に聖マリア病院で脆弱性骨盤骨折と診断され、保存療法を受けられ、聖マリアヘルスケアセンターへ転院された患者様		
④ 対象期間	2018年4月1日～2023年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	齊藤孝英	所属 リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、診断名、改定長谷川式簡易知能評価スケール点数、受傷前歩行形態・回復期退院時歩行形態（独歩、杖歩行、歩行器歩行、伝い歩き）、入院期間（急性期入院～回復期退院）、受傷後急性期理学療法開始までの日数、Numerical Rating Scale（以下NRS）、受傷～車椅子乗車（監視以上）が可能になるまでの日数、1/2PWBが許可され起立（監視以上）が可能になるまでの日数、歩行許可後1週の歩行形態（平行棒内歩行、歩行器歩行、杖歩行、独歩）、入院時血液データ（ALB,Hb,Ca）、股関節屈曲角度（理学療法開始日、受傷後1週、受傷後2週）MMT（腸腰筋、大腿四頭筋）		
⑨ 研究の概要	脆弱性骨盤骨折患者さんの歩行・日常生活動作能力を調査し、予後に影響を与える因子を検討します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します		

⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 齊藤孝英	
	電話	0942-35-3322 (代表)